

ICN 運営委員会ステートメント：経済危機における競争と競争政策の役割

2022年10月26日 ICN 運営委員会 公表

ICN 運営委員会は、各国・地域政府の政策の発展に関して、危機時の競争に関する声明を発表する。各国・地域政府がその直面する危機に対応するに当たり、競争を支援していくことを求める。

現代における多くの危機は、人々の経済的幸福を脅かしている。パンデミック、戦争及び気候変動は世界中の経済に混乱をもたらし、成長とイノベーションはリスクにさらされている。雇用、物価及び世界的なサプライチェーンは不安定になっている。

このような時期には、政府にとって競争の促進と保護についての優先順位が低くなる可能性がある。しかし、歴史と経験は、法執行と政策立案において競争を常に念頭に置くことが重要であることを教えてくれている。競争市場はより柔軟かつ弾力的なものである。経済の混乱に対して、より速く、より効果的に対応し、長期的には経済成長とイノベーションを促進する。

公正で開かれた競争、効果的な競争政策、積極的な競争法の執行は、今日、我々が直面する危機による経済的影響に対するあらゆる取組にとって重要な要素である。

公正で開かれた競争の役割

競争市場は、今日の危機によって引き起こされる混乱に対して、需要と供給が迅速に調整されるようにするために役立っている。それは、経済的資源が最も高い価値をもたらす用途に使用されることを確保し、企業は新しい市場環境に速やかに適合していく。そして、弾力性、多様なサプライチェーン、競争可能性、参入、成長、イノベーション及び経済回復を促進する。

競争が生産性の向上や経済成長の期待に重要な役割を果たすのはそれ故である。競争的で開かれたダイナミックな市場は、生産性を向上させ、市場参入とイノベーションを促進し、経済成長を助け、世界中の消費者を保護してきた。

競争は消費者に多くの重要な便益をもたらす。便益には、低廉化、商品選択の拡大、より質の高い商品やサービスを受けられることが含まれる。また、経済成長と競争を通じて、労働者はより高い賃金とより良い福利厚生之恩恵を受けられる。

市場がうまく機能している場合、あらゆる規模の企業は、そのライバルよりも消費者のニーズを満たすことで繁栄することができる。競争のもたらす利益は、集中度の高い市場にさらされ、独占化によるコストを不釣り合いに負担し

がちな消費者にとっては、特に重要である。

競争は、企業がライバルよりも効率的になり、コストを削減し、イノベーションを引き起こすための強力なインセンティブを提供する。これにより、経済全体の生産性が向上する。

競争政策の効果的なアドボカシーの役割

競争政策は、オープンで競争的かつ公正な市場を促進することによって、経済が危機による影響に適応し、回復することを助けることができる。競争の原理は他の政策にも示唆を与えることができ、労働者、消費者、中小企業及び大企業が公正で競争的な市場から利益を得られるようにすることに役立つ。競争当局や政策立案者には重要な役割があり、市場における競争を保護し、経済回復を支援するために政策上のツールを活用する。

競争政策の成果は、全体的なアプローチから得られるものである。競争当局は、政府機関が政策上の課題を競争の視点から捉え、政策の立案とその実施に際して、競争原理をいかにして組み込むかを検討するための支援をする。その結果、政策立案者は、危機による経済的影響に対処し、競争を維持又は支援し、及び競争への悪影響を最小限に抑えることができるような法律や政策を立案することができる。競争当局は、（規制政策や貿易政策といった）政策や経済的措置が競争市場をサポートできるよう、有益な見解と助言を提供することができる。これには、補助金又は合併規制や競争法の緩和など、より広範な経済的犠牲を払って通常の競争上の圧力から企業が保護されることになるリスクを伴う措置がもたらす影響に関する助言が含まれる。政策立案者は、既存の事業者と新規参入者の両方が市場で公正な機会を得られるよう、公平な競争条件を維持する必要がある。

競争政策は、今日の危機に対する唯一の回答というわけではないが、危機の間に市場支配力が高まることによる経済への悪影響に対処することや新規事業にとっての参入・拡大障壁を特定することに役立つ。そして、危機が引き起こす経済的な混乱に対して、柔軟で革新的な解決策を導くことを助けることができる。

積極的な競争法の執行の役割

我々は、経済が危機的状況に陥った場合でも、競争法を積極的に執行しなければならない。危機の影響によって競争が弱まると、企業の反競争的な活動が活性化し、市場支配力が定着する。過度の集中、共謀及び市場支配力の濫用による弊害は、景気回復を遅らせたり、妨げたりする。競争法の強力な執行は、経済的な混乱によっても反競争的活動が許容されないことを確実なものとする

ることができる。これは、消費者、労働者、世帯、あらゆる規模の事業者が公正で競争的な市場から利益を得られるようにする。

景気後退は、競争法の執行を緩和すべきとする保護主義的な圧力を増加させるかもしれない。しかしながら、経済危機の際に競争法や競争政策を排除したり、妨げたりすることは、景気回復を促進するのではなく、むしろ減速させることによって、消費者や生産者に弊害をもたらす得る。これまでの歴史は、そうした試みのコストが大きなものになり得ることを示し、また、そうした事実は多くの場合、長期的にしか明らかにならず、また、取り除いたり、元に戻したりすることが困難であることを示している。競争法は、緩和せずとも、例外的な状況下でも市場の現実を考慮できるだけの柔軟性を兼ね備えている。競争当局は、透明性のある方法で、サプライチェーンの混乱などに対処するための協力のイニシアティブなど、危機管理に関するガイダンスを企業に提供し得る。全ての措置は、適切かつ比例的で、非差別的かつ期間限定である必要がある。

積極的な競争法の執行と政策決定がなければ、有害な経済的状況が極めて長く続く可能性がある。競争法の執行や政策を妨げるような措置や、企業の市場支配力を高めるような政策は、望ましい効果とは逆の効果をもたらす得る。生産高や生産性への制約が増えれば、景気後退の影響はさらに悪化する可能性が高く、経済回復も遅くなる。それは、新規参入を難しくし、経済成長が阻害される。

競争と競争政策が現在の危機による経済的な影響を解決できる方法の例

- 1 経済成長の促進：競争と競争政策は、経済成長の鈍化と悪化から経済を回復させることに役立つ。これは危機の最中と危機の後の両方において当てはまる。競争は、市場、産業、経済が開かれたものであり、ダイナミックかつ生産的であることを確保することにつながる。パンデミックや戦争において経済的資源が活用されなかったり、別の用途で利用されたりした場合、競争は、最も価値をもたらす方法で経済的資源が活用されることを助ける。競争的な市場は、質の高い雇用の創出にもつながる。これは、労働者に転職や賃上げ交渉をする能力をもたらす得る。収入のより多くの割合を基本的なニーズを満たすために費やし、物価が上昇すると不釣り合いに負担を被るような脆弱な消費者を保護することに注力することで、競争と競争政策は包括的な成長を促進することができる。
- 2 グリーンイノベーションの促進：競争と競争政策は、グリーンな経済回復に重要な役割を果たし、グリーンイノベーションへのインセンティブを強化し、消費者が情報に基づいた意思決定を行えるようにする。
- 3 サプライチェーンの制約の緩和：競争と競争政策は、より迅速かつ効率的

な方法で危機から生じるサプライチェーンの制約に市場が対応することを助け、代替的な調達を可能にすることによってボトルネックを緩和する。市場がより集中的になり競争が弱体化すると、市場はより脆弱になり、機能不全を引き起こすリスクが著しく高くなる。オープンで競争的な市場は、サプライチェーンの変化に弾力性を与える。

- 4 エネルギーの供給上の制約と価格ショックの緩和：競争と競争政策は、危機から生じるエネルギーの価格ショックと供給上の制約に対し、より迅速かつ効率的な方法で市場が対応することを助ける。これは供給量を高め、エネルギー価格をより低く保つことに役立つ。
- 5 インフレの影響の緩和：インフレは、原則として、より広範な要素の結果ではあるが、競争は、インフレによって引き起こされる市場状況の変化に対し、需要と供給の調整を加速させることによって違いをもたらすことができる。競争は、経済成長と賃金上昇を加速させるため、インフレによって失われた購買力を回復させることに役立つ。競争法の強力な執行は、企業が反競争的な価格上昇を隠すためにインフレを利用することを防ぐことができ、また、価格上昇させ、インフレの影響を悪化させるような合併を防ぐこともできる。保護産業における競争を拡大することで、参入障壁を下げ、価格を引き下げ、消費者に購買力を取り戻させることができる。

結論

経済危機の解決策の一部には、競争、競争政策、競争法の執行があるべきである。競争的な市場は弾力的であり、包括的で、ダイナミックで、生産的で、革新的で、効率的である。開かれた競争、効果的な競争政策、積極的な競争法の執行は、消費者、労働者、世帯、企業、経済にとって良い結果をもたらすことにつながる。それは、危機による経済的影響に対処するために必要不可欠であって、長期持続可能な経済回復のためのより良い環境を作り出す。

我々は、世界経済で活動する法執行機関のコミュニティである。我々は、特定の法域における経済危機と不十分な競争法の執行が、より広範な影響を及ぼす可能性があることを知っている。他国・地域経済にも反競争的行為の影響が及ぶ可能性がある。これは、執行活動を効果的に調整する必要があることを意味する。それはまた、競争を保護し促進し続けることができるように、可能な限り政策を調整し、強化する必要があることを意味している。

原文：https://www.internationalcompetitionnetwork.org/wp-content/uploads/2022/10/SG_Statement-Role-of-Competition-in-Times-of-Economic-Crisis-2022.pdf